

協議事項22

小学校における早朝受入れについて

小学校における早朝受入れについて、協議事項として以下のとおり提案する。

令和7年9月5日提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 竹森 永敏

小学校における早朝受入れについて

1 背景と経緯

児童が自宅を出発するより先に出勤せざるを得ない保護者のニーズがどれくらいあるのか具体的に把握するとともに、課題への対応のあり方について検証するため、令和6年度に小学校7校において「早朝受入れ」のモデル事業を3カ月間実施した。

モデル実施の結果を受け、令和7年度は地域の協力を得られる小学校（地域人材モデル）で1年間試行実施を行い、保護者のニーズや課題についてさらなる検証を行う。

2 4月～7月の利用状況 [71日間] ※（ ）内は全児童数に対する割合

	全児童数	登録人数		1日あたり 利用者数	
			うち週3以上利用		
			うち小1.2		
住吉小	810	35 (4.3%)	9 (1.1%)	4	8.55 (1.1%)
灘の浜小	517	7 (1.4%)	0 (0.0%)	0	0.01 (0.0%)
中央小	587	27 (4.6%)	4 (0.7%)	1	4.86 (0.8%)
ひよどり台小	296	10 (3.4%)	2 (0.7%)	1	2.01 (0.7%)
塩屋小	501	42 (8.2%)	11 (2.2%)	6	10.99 (2.2%)
井吹東小	1,014	34 (3.4%)	5 (0.5%)	3	5.44 (0.5%)
檜野台小	306	25 (8.2%)	7 (2.3%)	5	5.69 (1.9%)
神出小	127	41 (32.3%)	5 (3.9%)	0	5.14 (4.0%)
合計	4,158	221 (5.3%)	43 (1.0%)	20	42.69 (1.0%) ※1校平均5.3人



【学年別内訳】 1年10名 2年10名 3年8名 4年6名 5年4名 6年5名



3 今後について

- ・2学期以降も児童の利用状況について検証を行う。
- ・各学校の学校運営協議会等を通じて、継続して地域へ協力を依頼する。